

## 日本珪藻学会第 33 回研究集会のご案内

日本珪藻学会 第 33 回研究集会会長  
琉球大学理学部 須田 彰一郎

日本珪藻学会第 33 回研究集会を下記のように行います。今回の開催地は日本の西南に位置する沖縄です。多くの会員が遠方からの参加となりますので、会期を 3 日間として実施します。沖縄は中国や韓国からは比較的近い距離にあります。そこで、本研究集会では、韓国と中国の研究者にも参加を呼びかけ、東アジアの珪藻研究者の交流を深めることを目的とした国際ミニシンポジウム「東アジアの珪藻」を企画しました。また、亜熱帯の地、沖縄での研究集会ですので、野外でのワークショップ（採集会）にも十分時間をとりたく思います。このため、一般講演はポスター発表のみに限定しますのでご了解下さい。

珪藻研究における沖縄の現状は、未開拓地とってよいほどと思われます。今回の研究集会では、多くの学会員に“フィールドとしての沖縄”からスタートしていただくことで、地元沖縄の人々へ“珪藻への興味の裾野を広げていく端緒”にしていきたいと考えています。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

### 記

#### 1. 日時

2013 年 11 月 15 日（金曜日）～ 2013 年 11 月 17 日（日曜日）

#### 2. 会場

琉球大学熱帯生物圏研究センター瀬底研究施設

〒905-0227 沖縄県国頭郡本部町瀬底 3422 番地 TEL. 0980-47-2888

（実験所は瀬底島に位置しますが、瀬底島は沖縄島と橋でつながっています）

#### 3. プログラム概要（予定）

11 月 15 日（金）

12 時～14 時 那覇空港到着後、レンタカーに分乗し実験所へ移動

16 時半～：国際ミニシンポジウム「東アジアの珪藻」（2 時間ほど予定）

夕食：近隣食堂の大きな部屋で全員一緒に食事

11 月 16 日（土）

9 時～10 時半：一般講演（ポスター発表）

10 時半～15 時：野外採集（淡水コースおよび海洋コース）と実験所での観察

15 時～17 時：オプションツアー（ちゅら海水族館見学）

夜：浜辺にてバーベキュー懇親会

11月17日(日)

8時半～9時半：最終討論および閉会

9時半：那覇空港へ向けて、レンタカー出発(途中下車し、オプションで首里城見学が可能。見学後、空港へはモノレールを利用)

#### 4. 参加費

参加費(懇親会費込み) 10,000円 学生 3,500円

交通費(空港～会場往復+採集会) 5,000円程度を予定(レンタカー利用のため、金額は参加者の人数によって変わります)。

#### 5. 参加申し込み

参加申し込み期限 **2013年10月1日(必着)**

専用ホームページ <http://ws.formzu.net/fgen/S47572139/> (学会ホームページにリンクがあります) から申し込んで頂くか、同封の申込用紙に必要事項を記入の上、下記宛てへ送って下さい。

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地

琉球大学理学部生物系

須田彰一郎

E-mail: [sudas@sci.u-ryukyu.ac.jp](mailto:sudas@sci.u-ryukyu.ac.jp)

電話：098-895-8564

#### 6. 研究発表

##### 〈シンポジウム〉

韓国および中国の研究者数名と発表について交渉中です。日本からも数名の発表を募集します。テーマは「東アジアの珪藻」です。この地域で行われている研究であれば、内容は問いません。発表言語は英語とします。パワーポイントの言語は英語ですが、理解を容易にするため2カ国語による作成も可能です。発表15分、質疑応答5分です。なお、申込者多数の場合は、発表形式をポスターに変更させて頂く場合があります。

##### 〈一般講演〉

ポスター発表のみとします。ポスターの大きさは、縦180cm、横90cmです。日本語もしくは英語で作成してください。日本語で作成の場合は、英語の表題と著者名を併記して下さい。なお、日本語で作成の場合、講演要旨は日本語で構いませんが、外国人研究者にも発表内容がわかるよう、英語による要旨も併せてご提出ください。

## 7. 講演要旨原稿

講演要旨集原稿送付期限 **2013年10月18日(必着)**

### 〈シンポジウム〉

以下の順番にて、英語で作成した原稿 (Word ファイル) を送って下さい。

i) 発表タイトル ii) 発表者名 iii) 所属 iv) 本文 (300 単語以内)

送付された原稿は事務局にてレイアウトします。

### 〈一般講演〉

原稿は日本語、英語をそれぞれ A4 サイズの用紙に、100x150 mm の範囲に納まるように仕上げ (書式は別紙参照)、e-mail の添付ファイル (Word もしくは PDF ファイル) にてお送りください。

### 〈ファイルの送り先〉

E-mail: [sudas@sci.u-ryukyu.ac.jp](mailto:sudas@sci.u-ryukyu.ac.jp)

## 8. 交通

参加者には、那覇空港の集合場所と時間を、後日連絡いたします。

なお、独自に会場へ来られる方は、琉球大学瀬底研究施設のホームページをご覧ください。

<http://www.tbc.u-ryukyu.ac.jp/sesoko/home>

## 9. 宿泊

琉球大学瀬底研究施設の宿泊施設をすべて押さえてありますが、30 名程度の受け入れが限界です。部屋にシャワーがあるかないかなどで若干異なりますが、学生部屋は部屋代とシーツ代で一人 1800 円、研究者部屋は部屋代とシーツ代で 3300 円です (どちらも 2 泊での合計金額)。研究者部屋はツインが 5 室あります。定員を超えた場合は、学生部屋に回って頂く場合があります (後日、申込者に直接連絡します)。学生部屋は 1 室 4 名利用で 7 室あります。

なお、実験施設のある瀬底島内にはペンションが、また橋を渡った本部町内にはホテルが幾つかあります (ホテルの予約は 8 月下旬から 9 月頃に受付が開始されるようです)。これらのへ宿泊については、各自でご予約下さい。

◎ 現在、国内線で沖縄行便を運行している航空会社は JAL、ANA、スカイマーク、ジェットスター、ピーチ航空、エアアジアなど多数の会社があります。これらのうち、格安航空会社 (LCC) による航空券の販売は概ね 3 ヶ月前から始まります。また、大手航空会社の正規割引航空券は 2 ヶ月前からの発売となります。いずれも席数に限りがありますので、早めに予約されることをお勧めします。

《一般講演用 講演要旨原稿の書式見本》

横100 mm, 縦150 mmに納まるように印字ください。

例えば以下のページ設定(A4縦)のもとで、印字する全体を29行とすると、所定のサイズになります。

余白:上46mm, 下25mm, 左右各55mm

一行字数:26文字, 行数:44行

フォント (和):MS明朝11 pt, (英):Century 11 pt

- 1) 著者名とタイトルの間はコロンの : とする。
- 2) 共同研究の場合は、演者の左肩に ○ をつける。3) 著者名: タイトルと本文の間は1行空ける。
- 4) 共同研究で研究者の所属が異なる場合は、 \* 記号で区別する。
- 5) 所属名は公式な略記を使用する。

○石井織葉\*・出井雅彦\*\*・鈴木秀和\*・南雲保\*\*\*・田中次郎\*:  
*Pinnularia* 属2種の有性生殖と増大胞子の微細構造

*Pinnularia* 属の有性生殖に関する知見は、これまでにいくつか報告があるが、未だ不十分である。今回、東京都神津島で採集した淡水産試料を単離培養したところ、*Pinnularia* 属の2種が有性生殖を行い増大胞子を形成したので、その詳細を報告する。

*P. major*: 配偶様式は同株性。Geitler (1973) に基づく増大胞子形成様式はtype IIB1 (各配偶子嚢に配偶子を1つずつ形成, 能動敵配偶子および受動的配偶子, 受動的配偶子嚢内で接合, 明瞭な接合膜をもつ)。*P. brevicostata* var. *sumatrana*: 配偶様式は同株性。増大胞子形成様式はtype IC (各配偶子嚢に配偶子を2つずつ形成, すべて受動的配偶子, 配偶子嚢外で接合, 母殻と並行に増大胞子伸長)。

[略]

また、*P. major* のキャップを構成する鱗片は、部位によって異なる形態を示したので、これについても考察する。

(\*海洋大・藻類, \*\*文教大・生物, \*\*\*日歯大・生物)